

連携室だより

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2024.8 vol.220

## MRI装置更新のお知らせ

MRI検査は、X線を使用せずに磁気と電磁波の作用によって人体の色々な部位の断面を撮像することができる画像診断装置です。X線検査のように放射線被ばくの心配がないことや、造影剤を使わなくても血管が撮影できる特徴を生かして、頭部、腹部（肝臓、胆嚢、膵臓など）、骨盤（子宮、卵巣、前立腺など）、脊椎、心臓、皮膚、筋肉などの多岐にわたる部位に対して、病気の広がりや程度の診断に活用されています。当施設では、MRI装置を2台保有しており、令和5年度は約6,000件の検査を実施しました。

医療技術や機器の進歩は目覚ましく、最新の技術に対応するために十数年で新しい装置の導入を検討する必要があります。当施設でも平成19年より使用してきた1.5テスラMRI(シーメンス社製)装置を更新して、令和6年6月3日より稼働を開始いたしました。通常機器の更新は装置システム全体を新しい物に交換するのですが、今回は、MRI装置の基本構造であるマグネット部分は半永久的に使用できる設計になっているためマグネットを残して、それ以外の機械コントロールユニットやコンピューター、さらに信号を受信するコイルなどのパーツを全て交換して、全く新しい装置にRebornさせて再活用する環境に配慮した更新でありました。(図1)

新MRI装置は、旧装置に比べ装置が人体からの信号を捉える能力が約40%向上しました。その結果、少ない信号でも画像が作成可能となり、画像の画質が顕著に向上したことと検査時間が大幅に短縮しました。(図2)。これにより、今まで苦手としていた心臓などの動きがある部位(図3)や、下肢などの広範囲の撮影部位(図4)に対しても臨床応用が可能となり、MRI装置の適応や有用性が広がりました。また、撮影室環境も木目調の壁紙や明るい照明を採用して、患者さんにリラックスして検査を受けて頂けるように配慮いたしました。(図1)

最新のMRI装置を最大限に活用して、TVドラマの『ラジエーションハウス』に負けない最高の画像診断情報の提供を目標にスタッフ一同努力しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(文責：診療放射線技師長 宮島 隆一)

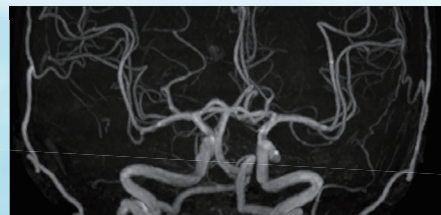


図2 撮影時間を30%短縮して撮像された頭部血管 MRA

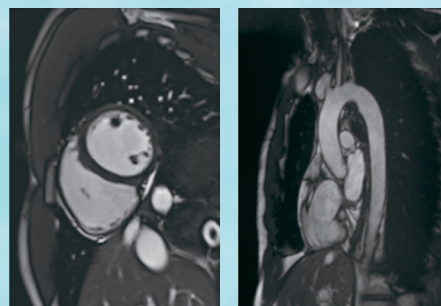


図3 動きが速い心臓領域のMRI



図4 広範囲の領域が短時間で撮像可能になった非造影下肢 MRA

# 令和6年度 中間管理者研修を開催しました

令和6年6月15日（土）に「働きがいのある持続可能な鹿児島医療センターになるために」をテーマに中間管理者研修が開催されました。当研修の開催は令和元年開催を最後に実に5年ぶりの開催となりました。

参加人数は、役職職員を含む医師・メディカルスタッフ・看護師・事務職員など幅広い職種から総勢100名を超える規模となりました。

今回は5つのテーマ（「収入を増やそう」「患者を増やそう」「救急患者（救急車）を増やそう」「支出を減らそう」「働き方改革でワークライフバランスを整えよう」）を8つのグループに分かれて検討いたしました。各テーマについて議論を深めてもらうため、あらかじめグループごとにテーマを設定し、現状分析や問題点の抽出および改善方策などを検討し、研修会当日は成果物を発表するというスタイルにしました。

田中院長による基調報告「病院の現状と将来構想」の後、各グループ最終調整を経て、発表会へと移りました。事前に準備していたこともあり、論点も整理されており非常にわかりやすく、スムーズな進行となりました。それぞれの発表後にはフロアから多くの質問があり活発な意見交換がなされました。

約半日の研修会でしたが、各グループの提案や改善方策は、示唆に富んでおり大変有意義なものでした。また職員一人一人が積極的に研修会に参加しようとする姿勢は、鹿児島医療センターを少しでも良くしていこうという気持ちの表れが感じられました。



今後は提案した改善方策について、各グループが主体となって実行に移していただく予定としています。本研修会がゴールではなく、スタートであるという認識のもと全職員一丸となって「働き甲斐のある持続可能な鹿児島医療センター」を目指していく所存です。

（文責：経営企画室長 江間 良治）



# 職場紹介

## 【西3階病棟】

西3階病棟は、耳鼻咽喉科・消化器内科の混合病棟であり、病床数50床の一般病棟です。急性期から慢性期・終末期などあらゆる病期の患者さんを受け入れ、専門職としての倫理観を持ちながら質の高い医療・看護の提供に取り組んでいます。

耳鼻咽喉科では、緊急性や重症度が高い突発性難聴や顔面神経麻痺など点滴治療を必要とする疾患や、中耳炎や副鼻腔炎、扁桃炎など、手術による治療を必要とする疾患に対応しています。また、頭頸部がんをはじめとした様々ながん患者さんが多く入院し、化学療法、放射線療法、新たながん治療法として注目されている光免疫療法を行っています。

消化器内科では、緊急入院で検査・治療をする疾患に対応し、確定診断のための検査や生検、内視鏡的治療を行っています。また、ラジオ波焼灼療法（RFA）、肝動脈化学塞栓療法（TACE）、腹水濾過濃縮再静注法（CART）、各種悪性腫瘍の化学療法、放射線療法など継続的な治療を行う患者さんが多いのも特徴です。

看護については、病気の告知、治療方針決定における意思決定支援を行い、患者・家族の思いに寄り添い安心して治療を受けられるよう入院前より介入を始めています。耳鼻咽喉科領域では、疾患や治療により「聞く」「食べる」「話す」「呼吸」に関連する機能が低下したり、機能そのものを失う患者さんもいます。身体的な負担に加え、ボディーイメージの変容に対する精神的な負担も大きく、その思いを汲み取りながら退院後の生活を見据えた看護を行っています。消化器内科では、治療や疾患の特徴から絶食を伴うことが多くあります。「食べる」ことは楽しみや生きがいに繋がっていることから、栄養士や言語聴覚士と連携し、苦痛と不安に寄り添いながら栄養管理やリハビリを行っています。また、胃瘻造設を行う患者も多く、自宅でも胃瘻の自己管理ができるよう患者さんの身体状況やライフスタイルに合わせながら手技獲得に向けた指導を行っています。

耳鼻咽喉科、消化器内科ともに多職種カンファレンスを週1回行い、患者さんの現状や治療方針、今後の目標について話し合いを行っています。病気を抱える患者さんと向き合う中で悩むこともあ

りますが、医師をはじめとする多職種との関係性も良く、何でも相談しやすく和気あいあいとした雰囲気働くことができる病棟です。日々患者さんから学ぶことも多く、病棟学習会では、幅広い知識を得ることができ、看護師として成長を応援してくれる病棟です。

これからも患者さんが安心して入院できる生活環境を提供するため、信頼される病棟づくりに取り組んで参ります。

（文責：看護師長 中川 勇樹）



▲多職種でのカンファレンス風景

鹿児島医療センター 外来診療担当表(2024年9月) TEL:099-223-1151(代) 2024年9月1日現在

診療科		曜日	月	火	水	木	金
血液内科	初診		大塚 真紀	原口 浩一	小代 彩	大塚 真紀	大渡 五月
	再診		大塚 真紀	大塚 真紀	大渡 五月	大塚 真紀	大渡 五月
	移植後フォローアップ外来※		小代 彩	原口 浩一	小代 彩	原口 浩一	
			血液内科医師及び看護師(完全予約制)				
腫瘍内科					魚住 公治 (再診のみ)		
糖尿病・内分泌内科			郡山 暢之	和田 華菜子 大保 崇彦	郡山 暢之	平原 涼太郎 大保 崇彦	郡山 暢之
糖尿病療養指導外来※			糖尿病看護認定看護師				
消化器内科	消化管・胆膵		井上 和彦 千堂 一樹	福森 光 竹中 嵩博	福森 光 千堂 一樹	「処置日」	井上 和彦 竹中 嵩博
	肝臓		櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏	森内 昭博	櫻井 一宏
腎臓内科			古庄 正英		「手術日」	古庄 正英	外山 裕貴
第一循環器内科			福永 研吾 田方 健人	片岡 哲郎 高崎 州亜	茶園 秀人 今村 春一 中島 均	茶園 秀人 1 循医師	高崎 州亜 福宿 愛
第二循環器内科 * 弁膜症外来 火曜日			馬場 善政 園田 幸一郎	田中 康博 東 健作 平塚 聖久	園田 正浩	田中 康博 石川 裕輔 伊集院 駿	園田 正浩 松本 洋之
不整脈治療科			塗木 徳人		塗木 徳人 蔡 榮鴻	二宮 雄一	塗木 徳人
脳・血管内科			松岡 秀樹 濱田 祐樹	松岡 秀樹 高口 剛	松岡 秀樹 佐藤 健朗 岩元 佳奈	松岡 秀樹 濱田 祐樹 高口 剛 (もの忘れ外来 午後のみ)	松岡 秀樹 高口 剛 川畑 裕太郎
小児科 * 心臓健診 月曜日～金曜日			田中 裕治 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子	田中 裕治 砂川 雄海	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子 石川 香織	田中 裕治 砂川 雄海 二宮 由美子 吉永 正夫
放射線科	放射線治療		西森 宏雄		西森 宏雄	西森 宏雄	西森 宏雄
	画像診断 CT・MRI・RI		井手上 淳一 佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴	佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴	井手上 淳一 佐竹 有貴
心臓血管外科			峠 幸志		金城 玉洋		立石 直毅
外科・消化器外科				塗木 健介 崎田 浩徳		塗木 健介 崎田 浩徳 宮崎 俊明	
脳神経外科 * 水曜日は、手術日のため外来診療休止			橋渡 貴昭	橋渡 貴昭	「手術日」	今村 純一 (完全予約制)	上野 滋登
婦人科 * 完全予約制			神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	「手術日」	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指	神尾 真樹 川原 裕史 福西/弓指
耳鼻咽喉科 * 完全紹介制(初めてのの方は医師の紹介が必要です)			松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾	「手術日」	松崎 勉 西元 謙吾
泌尿器科 * 火曜日は、手術日のため外来診療休止			川平 秀一郎	「手術日」	川平 秀一郎	川平 秀一郎	川平 秀一郎
皮膚腫瘍科・皮膚科			松下 茂人 青木 恵美 戸澤 貴久	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史(第2.4週) 戸澤 貴久(第1.3.5週)	「手術日」	松下 茂人 青木 恵美 岩田 昌史
眼科 ※ 外来診療のみ			中尾 久美子 午後 休診	中尾 久美子	午前 休診 中尾 久美子	中尾 久美子	中尾 久美子
歯科口腔外科			中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子	中村 康典 大河内 孝子
専門外来	医師		緩和ケア外来 松崎 勉		腹水外来 櫻井 一宏		がんゲノム医療相談外来 鈴木 紳介
	看護師		フットケア外来 糖尿病看護認定看護師		リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者	ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師	
セカンドオピニオン外来※			循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患				
『健康診断』 受付 午前8:45～10:00				第一循環器内科	第二循環器内科		脳・血管内科

受付時間 午前8時45分から11時00分まで

診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで\*ただし、急患についてはこの限りではありません

休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)

※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します

\*不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください

\*歯科診療に関しましては当院入院患者さまのみとなっております

予約センター

・専用FAX:0120-334-476 ・専用TEL:0120-680-704

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター**(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

**メディカルサポートセンター**

地域連携室専用FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

